

## 第二学年一組 道徳科学習指導案

指導者 大刀洗町立菊池小学校

教諭 中野 春花

**主題名** あたたかい 心 B(7) [親切、思いやり]

「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」

**教材名** 「くりのみ」(日本文教出版2年生)


### 主題設定の理由

- 本学級の子どもたちは、周りの人に親切にしたり優しくしたりすることは大切だと感じている子どもが多い。しかし、日常生活では、自分のことを優先して相手のことを考えた行動をすることができない子どもも見られる。これは、相手のことを考えて親切にすることによって相手が喜び、それが自分の喜びにもなるということについて、実感を伴って理解することができていないためだと考える。そこで、家族以外にも学校の人々や友達など、様々な人々との関わりが増え、人間関係が広がることで、自分中心の考え方から相手の考えや気持ちに気付くことができるようになるこの期に本主題を取り上げる。そして、温かい心とは、自分が苦しい時でも、自分のことばかりではなく、相手のことを考えて行動し、相手の助けになろうとするものであることを理解し、温かい心で周囲の人々と関わることの大切さを理解することができるようにする。このことは、身近な人に温かい心で関わることでよりよい人間関係を築き、自己の生き方についての考えを深める子どもを育てる上からも意義深い。
- 「親切」とは、相手の身になって、その人のために何かを尽くすことである。「思いやり」とは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けようとする心遣いである。本主題に関しては、第1学年では、身近な人に親切にすることの気持ちよさについて学習している。これらの上に立ち、第2学年では、身近な人のことを考え、温かい心をもって親切にすることで、相手も自分もよい気持ちになることについて学習する。このことは、中学年における、相手のことを思いやり、進んで親切にすることの学習につながり、さらに、高学年における、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることの学習に発展していく。
- 本時学習の指導に当たっては、教材「くりのみ」における、自分のことばかりを考えるきつねが、うさぎの温かい心に触れ、涙を流す場面を中心に取り上げる。そして、温かい心とは、自分が苦しくても自分のことだけでなく、相手のことを考えて行動し、その助けになろうとするものであると理解し、身近な人に対して、相手が喜ぶようにと考えて行動をしようとする態度を育てるようにする。そのために、親切、思いやりの価値について多面的・多角的に考え、温かい心の意味を明らかにする。まず、つかむ段階では、生活場面での行為と、事前アンケートの結果とのずれから問題意識をもつことができるようにする。次に、広げる段階では、きつねがどんぐりを隠す姿に共感したり、くりのみを渡したうさぎの心情を動作化を通して分析したりすることで、うさぎの行動に心を打たれ、涙を流すきつねの感じ方や考え方に共感しながら、温かい心の意味を明らかにできるようにする。最後に、見つめる段階では、生活場面を想起し、本時学習における新たな気付きを基に、親切、思いやりの価値に関する自分の感じ方や考え方、行い方の特徴や課題に気付き、自他共によりよい生き方の実現へ向けた思いや願いをもつことができるようにする。

**ねらい1** 温かい心とは、自分が苦しくても困っている相手のことを考えて行動し、その助けになろうとするものであることを理解し、身近な人に対して相手が喜ぶようにと考えて行動しようとする態度を育てる。

**2** 教材「くりのみ」において、役割演技や立場を変えて考える発問を基に、温かい心の意味を明らかにする対話活動を通して、親切、思いやりの価値を追求できるようにする。

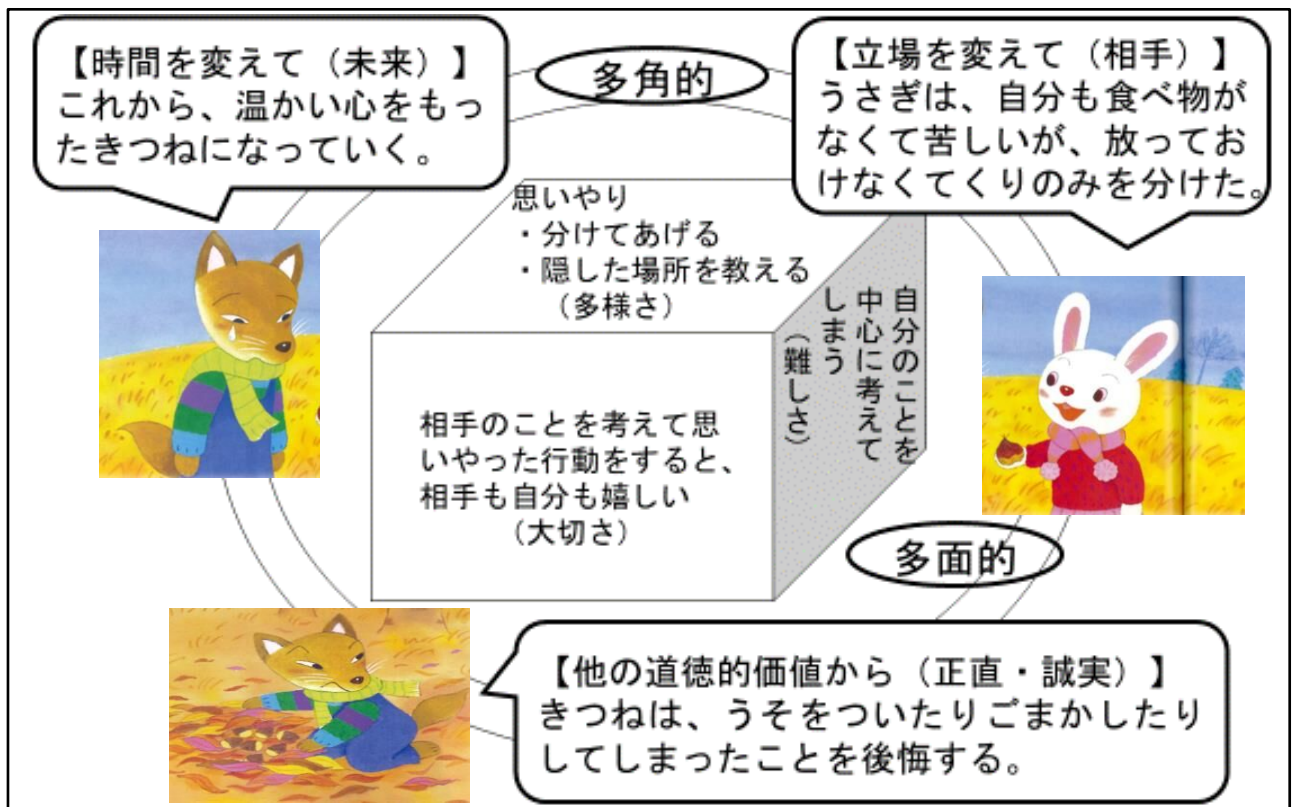
過程

段階	学習活動と予想される子どもの反応	教師の具体的な支援
つかむ	<p>1 温かい心に関する自他の感じ方や考え方と事前アンケートの結果を比べ、本時のめあてについて話し合う。</p> <p>いすが1つ空いている。疲れたので座りたいが、一緒にいる友達も同じように疲れている。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p><b>【アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にすることは大切。</li> <li>・困っている人に優しくしないとかわいそう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p><b>【感じ方・考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疲れているから座ってほしい。</li> <li>・自分も疲れているから座りたい。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">こまっている人にやさしくできるこころをふくらませよう。</p> <p>2 教材「くりのみ」におけるうさぎの行動を基に、自分が苦しくても相手のことを考えて行動しようとする思いやりの心を捉え、温かい心で関わることの価値を明らかにする。</p> <p>(1) 自分のことだけ考えて行動するきつねと、相手のことを考えて行動するうさぎに共感し、自他の多様な感じ方や考え方を基に考えを広げる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p><b>【きつねの行動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とられないように隠そうとしている。</li> <li>・自分のことだけを考えている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p><b>【うさぎの行動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たった2つしか見つけていないのに分けようとした。</li> <li>・自分だけでなく、相手のことを考えている。</li> </ul> </div> <p>(2) うさぎの行動を見たきつねが涙を流した理由を考え、温かい心の意味を明らかにし、思いやりの行動につながるよう、温かい心に気付いたきつねがどのような行動をするのかを考える。</p> <p style="text-align: center;">きつねはどうして涙を流したのだろう。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も苦しいのに、2つしかないくりのみを分けてくれるなんて。</li> <li>・本当はたくさん見つけたのに嘘をついてごめんね。</li> <li>・ぼくもうさぎさんのようにになりたい。</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">このあと、きつねはどんなことをするだろう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎのために隠したどんぐりの場所を教える。</li> <li>・どんぐりを分けてあげた。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">自分がこまっているときでも、あい手のためになろうとするこころ。</p>	<p>○温かい心で関わることについての問題意識をもたせるために、事前アンケートの結果と類似場面における感じ方や考え方を基に、自他の感じ方や考え方を比べ合う場を設定する。</p> <p style="text-align: right;"><b>【問いをもつ対話】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>○他者と温かい心で関わることについて考えるために、うさぎの温かさが現れる場面で教師が動作化をし、共感しながら両者の感じ方や考え方の違いを比較したり話し合ったりする場を設定する。</p> <p><b>共感：</b>「きつねはどんな気持ちでどんぐりを隠したのだろう」</p> <p><b>立場を変えて：</b>「うさぎはどんな気持ちでくりのみを分けたのだろう」</p> <p>○うさぎの行動に込められた「温かい心」の意味を明らかにするために、うさぎの行動に心を打たれ、涙するきつねの立場に立って、親切にされた時の気持ちや、温かい心の意味を考えたり、交流したりする場を設定する。</p> <p><b>問い返し：</b>「きつねはどうして涙を流したのだろう」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>条件を変えて：</b>「このあと、きつねはどんなことをするのだろう」</p> <p style="text-align: right;"><b>【吟味する対話】</b></p> </div>
みつめる	<p>3 生活場面を基に、これまでの自分の感じ方・考え方の特徴や課題を振り返り、温かい心で関わる生活をしていこうとする思いや願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が困っているときは、自分が大変でも困っている人を助ける心が大切だと分かった。 <b>【自我関与性】</b></li> <li>・自分が大変でも困っている人を放っておかず助けたいというAさんの考えに納得した。 <b>【相互作用性】</b></li> <li>・これからも、相手のことを考えて行動できる優しい自分になりたい。 <b>【未来志向性】</b></li> </ul>	<p>○温かい心で関わることに関する実践意欲をもたせるために、温かい心をもって生活している子どもたちの実践場面を提示する。</p> <p style="text-align: right;"><b>【味わう対話】</b></p>

内容項目の分析

<p>「親切」とは、相手の身になって、その人のために何かを尽くすことである。「思いやり」とは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けようとする心遣いである。</p> <p>「身近にいる人」とは、家族や友達など、生活する中で直接的に関わる人のことである。「温かい心で接し、親切にする」とは、相手のことを考え、優しく接することで得られた相手の喜びを自分の喜びとして受け入れながら具体的に親切な行為をすることである。</p>		
低学年	中学年	高学年
身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。
第2学年の主題名・教材	指導の重点	
やさしくできた 〈6月〉 「ありがとうって言われたよ」(日文)	人に親切にすることで、相手も自分もいい気持ちになるという、親切にすることのこころよさ。	
あたたかい心 〈11月〉 「くりのみ」(日文)	自分のことだけではなく、困っている人の助けになろうと行動することの大切さ。	
だれにでもやさしく 〈1月〉 「ぐみの木と小鳥」(日文)	身近にいる、困っている人を放っておかず、その人のために役に立とうとすることの大切さ。	

教材の吟味を基にした発問



<p>【さぐる発問(共感)】</p> <p>きつねはどんな気持ちでくりのみを隠したのだろう。</p>	<p>【深める発問(問い返し)】</p> <p>きつねはどうして涙を流したのだろう。</p>	<p>【深める発問(条件を変えて)】</p> <p>このあと、きつねはどんなことをするのだろう。</p>
--	--	--

